

## 科学研究費助成事業 研究成果報告書

平成 29 年 6 月 21 日現在

機関番号：84413

研究種目：基盤研究(C)（一般）

研究期間：2014～2016

課題番号：26370152

研究課題名（和文）絵画制作者としての公家の基礎的研究 - 江戸時代中後期を中心に -

研究課題名（英文）Basic research on kuge painters, focused on the middle-to-late Edo Period

研究代表者

岩佐 伸一（IWASA, SHINICHI）

公益財団法人大阪市博物館協会（大阪文化財研究所、大阪歴史博物館、大阪市立美術館、・大阪歴史博物館・学芸員

研究者番号：70393288

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 1,900,000円

研究成果の概要（和文）：本研究は、江戸時代中期および後期の公家がどのような絵画表現を試みていたのかを明らかにすることを目的とした。

その結果、100名を超える公家が絵画制作に携わり、約200点の現存作例を確認した。作例は人物、山水、花鳥画など広範囲の画題を確認した。またその表現は、江戸時代中期に活動した公家は、狩野派や土佐派などの表現を採る者が多くいた。江戸時代後期になると、土佐派や狩野派に加えて、新興の流派ではあるが、広く人々に受け入れられた円山派、四条派、岸派、南蘋派などの新たな表現を取り入れた公家の作品が多数確認できた。よって絵画を手掛けた公家は、同時代の絵画表現の動向に機敏であったことが明らかとなった。

研究成果の概要（英文）：This research was aimed at clarifying how the kuge aristocratic class attempted to express itself artistically in the middle-to-late Edo Period.

It confirmed that more than 100 kuge were involved in painting and looked at roughly 200 remaining artworks. The wide-ranging subjects included people, landscapes, and bird-and-flower images, while the styles varied by period. During the middle Edo Period, many kuge explored expressive methods such as the Kano school and Tosa school. In the late Edo Period, some artworks incorporated expressive methods including the emergent Maruyama school, Shijo school, Kishi school, and Nagasaki School. Accordingly, this research confirmed that the kuge painters were highly attuned to the artistic expressions of their era.

研究分野：日本絵画史

キーワード：絵画史 日本 公家 江戸時代

## 1. 研究開始当初の背景

(1) 江戸時代絵画史における公家は、絵師に対する発注者や宮廷社会への仲介者としての庇護者的役割から論じられる。研究の盛んな武家の絵画作品 - 秋田蘭画や長崎派絵画 - とは異なり、制作者としての公家への言及は、近衛家熙「花木真写」など江戸初期のわずかな作例にしか行われていない。しかし、書画展覧の目録、天皇や皇族の肖像画から、江戸時代中後期の公家が制作者として積極的に活動をしていたことを知った。

(2) 制作者としての公家は、自らの絵画的知識を以て絵師と関係した可能性がある。例えば円山応挙が仕えた宝鏡寺尼宮は、絵を描いた公家の伏原宣光や西洞院信庸と姻戚関係にあり、彼らと応挙の関係が推測される。従来の応挙研究では、皇室や門跡からの影響は指摘されたが公家の影響は考慮されていない。公家絵画の解析からは、それらに対する新知見が得られる可能性もある。

(3) 現在の絵画史研究では、制作者 = 表現者としての公家という視点は採られず、その実態は明らかではない。しかし他の分野では、表現者としての公家研究が進んでいる。国文学では、歌人としての研究のほか、俗文学における表現活動も明らかにされた。芸能史では能の演者としての姿が明らかにされている。史学では公家の事績を網羅した橋本政宣『公家事典』（吉川弘文館、2010年）が公刊されたが、公家が表現者となった歌や文学、書への言及はあるが、絵画には触れられていない。このような現況は、絵画史における公家の活動に対する認識の希薄さによるものであり、学際的な研究を遅滞させる要因になると懸念される。

(4) 近年の絵画史研究は、作品論以外にも、受容の環境や制作者の身分など多角的に論じられる。公家の手になる作品のうちには、天皇や皇親の肖像画が複数含まれている。これらを職業絵師ではなく公家が描いたのは、

特殊な画題ゆえに制作者の身分が必要であったと推察されるが未解明である。このような制作と身分の問題を含む当課題は、近年の研究動向に合致する。

## 2. 研究の目的

(1) 絵画制作を行なった公家の経歴の把握、作例の集約など、制作者としての公家および制作物の総体的な把握を目指す。本課題では、円山派をはじめとする江戸時代中期以降の新興画派との影響関係を重視する。よって時代の設定は江戸時代中期および後期とする。

(2) 作例の集成により制作者としての公家がどのような様式を採っていたのか、それは職業画家が描き、人々が享受した絵画様式と差異が認められるのかについて検討を行う。

(3) 把握した公家の経歴を解析し、師資相承の様相、姻戚関係と画技、皇親の肖像画制作にあっては像主との関係を明らかにする。

(4) 公家の制作した絵画作品の受容に関する資料の集成を行なう。

## 3. 研究の方法

(1) 当該課題にどのような公家が関係するかについては、これまで集約されたことがなく、関係する文献に当たる必要がある。よって絵画制作を行なった公家を把握するべく『古画備考』をはじめとする画人伝を、次いで当該人物の経歴や婚姻関係を明らかにするために『公卿補任』や近年編纂された『公卿事典』などを検索する。

(2) 上記と同様に、公家の制作した絵画作品についても従前集成はなされてこなかった。よってまずは文献からの関係資料の抽出を行う。文献は、近現代の出版物、江戸時代の著作物に大別される。においては、美術雑誌、展覧会図録、在外博物館美術館の画集、画人伝、には画譜や展覧目録、詩文集などが挙げられる。これらからは画像情報を得られる場合とそうでない場合が考えられる。画

像情報が得られない場合でも画題の確認やその享受状況が知られるため、当該研究推進においては重要と考える。

(3) 作風や款記について詳細な情報を得るために、また付属品からの情報収集を目指して作品の調査を行う。

(4) 享受を示す資料としての大名家などをはじめとする蔵帳、公家と関係を持った各地の素封家の日記類などから公家の絵画制作にかかる事項を抽出する。

(5) 公家の手になる絵画に特徴的な事柄を把握するため、身分的に公家と対照される武家の残した絵画との画題および様式上の比較を行なう。

(6) 公家の手になる絵画が、同時代のどのような画派に近い表現を採るのかを考究するために、江戸時代中期後期の絵画作品との比較を行なう。

#### 4. 研究成果

##### (1) 総体的把握

絵画制作を行なった公家について、浅岡興禎『古画備考』、古筆了仲『扶桑画人伝』、細川潤次郎『近世画史』、狩野寿信『本朝画家人名辞書』、荒木矩『大日本書画名家大鑑』などの書画人名録を検索し、約100名の存在を確認した。これらに重複して掲載される公家画人も多くあったが、1、2タイトルにしか掲載されない画人もある。比較的多数の確認ができたことは、複数タイトルの画人伝を検索したことによる成果と考える。

時代は本課題が対象とした江戸時代中期から後期はもとより、江戸時代初期また明治時代にも絵画制作をした公家の存在が明らかになった。作品については、文献の検索ならびに機関や個人に所蔵される作品を実見した。その結果約200点の作品を知り得た。

##### (2) 制作者

上記で把握した公家画人の経歴を把握するために、国史大系本『公卿補任』や橋本政

宣『公家事典』を検索した。その結果、描いた公家の家格は、撰家、大臣家、清華家、羽林家、名家、半家のすべてに及び、家格の上下を問わず絵画制作を行っていたことが確認できた。

それらの公家は、江戸時代中期から明治時代前期にかけての活動が見られたが、これ以外にも近衛信尹をはじめ桃山時代から江戸時代初期に活動した者、また三条実美や久我建通ら明治時代中後期までの生存が確認できる者もあり、今後はこれらを含めた把握と検討を行うことにより、公家の制作した絵画の状況が一層明らかとなろう。公家画人の師承関係については、画人伝に記載のある者は、石山師香や鷲尾隆長ら僅かであった。しかし後述のように現存作品の解析から画系が看取される例もあり、絵画制作に携わった公家の多くが、職業絵師に学んだであろうことが伺われた。

##### (3) 作品

今回、公家画人が残した作品を約200点確認した。まず画題に着目すると、山水画、人物画、花鳥画のいずれも確認でき、幅広い画題を手がけていたことを知った。山水を題材にした作品では、和漢双方を題材にした作例が確認できたが、大半は日本に縁のある題材が多く、中国由来の画題は多くはなかった。中国に由来する山水図としては、宋元絵画を彷彿とさせる小倉宜季「山水図」、山中における文人の清遊を描いた九条尚忠「山水図」などが挙げられるが、今回確認した作品において占める割合は低い。このことは人物画や花鳥画にも通じており、公家が採った画題に地域的な偏向のあったことが知られた。人物画では天神像などの神像、また天皇や親王などの皇族の肖像画の存在が目立った。特に後者は、職業画人よりも公家が手がけた作例のほうが多く、像主に近侍することができたためなどと考えられる。特に慈光寺実仲「織仁親王御画像」は、『織仁親王行実』に葬祭時

に掲げられたと記載され、制作および使用の状況が明らかとなった。天皇御影や他の皇族画像も共通する表現を採っており、同様の背景を有するものと考えられる。これらより貴顕に近侍した公家の職務のひとつとして絵画の制作があったことがわかった。花鳥画においては、松鶴図や群亀図など、日本的な吉祥的画題が多く見られた。上記の画題以外では、宮中や神社、洛中の祭祀や風俗を描いた作品（大原重成「官女図」、岩倉具選「鎮華祭図」、岩倉具慶「懸想文売図」など）を確認し、京都に居住し、職掌上祭祀に関わることの多かった公家ならではの画題の選択といえよう。

さて作品における表現は、江戸時代中期あっては、狩野派や土佐派に近い作風を示していることが多い。一例を示せば、江戸時代中期の公家であり、比較的多数の作品を描いている鷲尾隆長が描いた、狩野探幽の略筆風の水墨画をあげることができる。これに対して江戸時代後期に活動した公家の作品には、同時代の絵画界を風靡していた写生画派の描法を取り入れた作品が多い。慈光寺実仲「虎図」は岸派、同「水月図」や大原重成「雪中常磐図」は四条派などがそれと挙げられる。よって絵画制作を手掛けた公家は、時宜に応じた表現様式を自らの作品に取り込んでおり、時勢に機敏であったことが指摘できる。

#### (4) 享受

公家の制作した絵画がどのように享受されていたのかについては、幾つかの資料からその一端を伺うことができた。たとえば先述した貴顕の肖像画であれば法要の際に追慕像として用いられていた。また江戸時代に編集された大名家の蔵品目録にも公家の絵画が見られた。松平定信の遺品分与の記録である『文政己丑御遺物帖写』（中京大学図書館蔵）には、久世通根の画幅を定信夫人へ遺贈した旨が記され、公家の絵画が大名家の調度としての所有かつ遺贈品として機能してい

たことを確認した。また彦根藩主井伊直亮の掛物蔵品目録『懸物記』（彦根城博物館蔵）には高辻総長「白梅に月図」が記載され、直亮の評が記される。これより大名家での享受とともに公家絵画への評価の一端も知られた。

#### (5) その他

武家の絵画と比較すると、蘭画など西洋絵画の影響を受けた作品は見られず、また長崎派の表現を取る作例も少ない。よって現時点では、江戸時代中期後期における外来の新たな表現の採用には積極的ではなかったと考えざるを得ない。

作品は掛幅が大半を占め大画面作品は確認できなかった。よって公家の絵画は比較的少人数の場における鑑賞が前提であったと推測する。しかしながら書画展覧などの場で公開されていた例も確認し、公家や武家の身分以外にもその存在が知られていたことが明らかとなった。

職業画人との接触の有無については、澤宣嘉「中殿和歌御会図」が冷泉為恭の蔵本を模写したと記し、九条尚忠「山水図」は狩野永岳に近い表現を採るため、同時代の職業画人との接触を持っていたことが一定程度明らかとなった。

#### (6) 今後の展望

今回の研究課程において、天皇や皇族、地下官人など、公家とともに宮廷に関与していた人々の絵画作品も見出した。その集成と解析を行えば、江戸時代の宮廷がどのような絵画的嗜好を持っていたのかが明らかになる。彼らが職業画人に与えた影響が明らかとなれば、新たな様式を生み出した江戸時代中期後期の職業画人の画風形成の一端の明確化に寄与すると考える。

#### 5. 主な発表論文等

（研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線）

〔雜誌論文〕(計1件)

岩佐伸一、禹治水図 林口ウ苑筆、國華、  
1459号、24-30頁、2017年、査読有

〔図書〕(計1件)

岩佐伸一、大阪歴史博物館、唐画もん、  
2015年、224頁

## 6. 研究組織

### (1)研究代表者

岩佐 伸一 (IWASA SHIN'ICHI)

大阪市博物館協会・大阪歴史博物館・学芸員

研究者番号：70393288